



花かつみの里 2024



No. 20

「馬はともだち サラブレットと親しもう」

9月12日(木)に、JRA福島競馬場の皆様と、朝日小学生新聞の皆様にお世話になり、出前授業「馬はともだち サラブレットと親しもう2024」を実施しました。

この出前授業は、本校の創立150周年記念の関連事業でもあります。

まず、体育館で馬についての話を聞きました。その後、校庭に移動して、各学年の児童代表と馬の競争や、馬運車の見学、馬とのふれあいなどの体験をしました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

児童一人一人に「馬はともだち」という本をいただきました。



「ぶどうの収穫」(3年生)

9月13日(金)に、3年生がぶどう畑に行き、大きく育ったぶどうを収穫しました。

前回見学した時に、自分で袋をかけたぶどうをいただきました。

子どもたちはとてもうれしそうでした。



<ちょっとだけ役に立つ話>

4月1日生まれの子どもは、なぜ「早生まれ」なのか？

小学校の学年度が4月1日から翌年3月31日までになったのは、明治25年のことで、小学校に入学できるのは満6歳になってからです。

しかし、ここで1つの疑問が出ます。

どうして4月1日生まれの子どもは早生まれで、4月2日に生まれた子どもより1年早く就学するのでしょうか？



3月31日までに生まれた子どもを「早生まれ」というのはもともととしても、4月1日に生まれた子どもまでが「早生まれ」に含まれるのは、おかしいような気がします。

なぜなら、普通、私たちは誕生日をもって満何歳という数え方をするからです。

例えば、平成24年4月1日に生まれた子どもは、平成30年の4月1日で満6歳になるというように・・・。

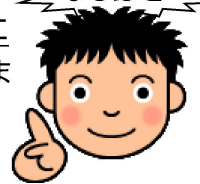
しかし、法律上の満年齢の定め方は違うのです。法律(民法)上は、誕生日の前日をもって満年齢としています。

つまり、平成24年4月1日生まれの子どもは、平成30年3月31日で満6歳とみなされるのです。

学校教育法では、「満6歳に達した日の以後の学年の初め」に就学義務が発生します。

よって、4月1日生まれの子どもは、3月31日に満6歳に達することから、4月2日生まれの子どもより1年早く就学することになるのです。

なるほど!



日常生活の中で、「なぜだろう?」と疑問に思った時は、すぐに調べてみる習慣が身につくといいですね。

